

# 第227回スポーツサイエンス研究会

日時 2023年6月26日(月) 13:10 より

場所 早稲田大学所沢キャンパス 100号館  
第一会議室・オンライン同時開催

ZOOM情報

URL: [こちらをクリック](#)

ID: 976 0637 1874

パスコード: 479136

**演題** スポーツメーカー研究者のキャリアパス

**演者** 阪口 正律 先生

株式会社アシックス スポーツ工学研究所  
主席研究員

## 抄録

多くの大学院生や博士研究員にとって、最も身近な研究職は大学教員であり、学位取得後のキャリアパスは、助教などのアカデミックポストに就き、研究を続けるというのが大半であろう。しかし、それ以外にも研究職ポストは多く存在する。自らの研究成果や大学院で培った能力を社会に還元していく上で、企業研究者も一つの研究者キャリアの選択肢である。特に、スポーツ関連分野の研究者にとってスポーツメーカーは、研究成果を公表する方法として、論文や学会での発表に加え、商品やサービスとして社会に還元できるという機会がある。

私は、早くからスポーツメーカーでの研究者を志してきた。しかし、私の周囲にはそのようなキャリアモデルになるような研究者はおらず、自分なりの分析とキャリアデザインを行ってきた。日本で博士号取得後に、海外の大学で博士研究員として経験を積み、現在は民間企業で研究者として働いている。こういったキャリアパスは、日本では珍しいかもしれないが、世界に目を向けてみると、民間企業での研究職という将来像を具体的に持ち、それに向かってアカデミアで経験を積む、というキャリアパスを歩む人は、決して少なくない。そういった民間企業の研究職に就くために、自身が歩んできたキャリアパスや、海外で得た経験などについて説明する。

